

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)枚方市南楠葉1丁目 計画	階数	地上5F
建設地	大阪府枚方市南楠葉	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、防火地域	平均居住人員	204 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2023年4月28日
敷地面積	2,182 m ²	作成者	森田俊和
建築面積	1,377 m ²	確認日	2023年4月28日
延床面積	4,746 m ²	確認者	森田俊和



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 79%

③上記+②以外の 79%

④上記+ 79%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q スコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR スコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
閑静な住宅街に良好な居住環境を形成し、外観は落ち着いた高級感のある雰囲気としている。		1階住戸には燃料電池エネファームを備え、レジリエンス機能も備えている。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
住戸の断熱等性能等級4相当の外皮性能。グレア対策として、各住戸にバルコニー・カーテンの設置。建材のほとんどはF☆☆☆☆とし、室内空気環境に配慮している。標準的な住戸は南向き。	各戸に高速インターネット設備設置。住宅の品質確保の促進等に関する法律3-1.劣化対策等級(構造躯体)における等級3相当。	外構の緑化を行い、緑の量の確保するとともに、敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
高効率給湯器・LED照明等の高効率化したシステムを採用している。	節水型便器や節水型水栓を採用し、水資源保護を行っている。解体時に部材のリサイクルを促進する取組みとして、躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。	屋外照明および屋内照明のうち外に漏れる光に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	(仮称)枚方市南楠葉1丁目 計画							
	建設地	大阪府枚方市南楠葉							
	用途/区分	集合住宅							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+					
①	CO2削減			4					
②	みどり・ヒート アイランド対策			3					
③	建物の断熱性			4					
④	エネルギー削減			5					
⑤	自然エネルギー直接利用			○					
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

エネルギー消費量の報告	対象外
-------------	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.8	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.6	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。		報告する 報告しない

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		